

パルテノン多摩

2019 事業レポート



公益財団法人多摩市文化振興財団

パルテノン多摩2019(令和元)年度 事業一覧表

2019(令和元年)年度はパルテノン多摩大改修前の最後の一年となりました。改修に向けては、議会での熱心な議論、改修基本計画の策定、自発的な市民によるワークショップでの話し合い、有識者も交えた管理運営策定委員会での将来像の検討など、多様な場で幅広い議論がされてきました。パルテノン多摩は「まちのシンボル」であるという熱い思いに溢れていました。

1987年(昭和62年)の開館以来、文化芸術の殿堂として、市民や子どもたちの晴れ舞台として親しまれた施設には、多摩に暮らす人々の思い出や愛情が積み込んでいます。議論を経て新たな基本理念が「文化芸術を通して、みんなが喜び、つながり、まちの魅力を創造する」と定められました。目指す将来像として「市民自らが地域の文化を高める場」「まちの魅力を創造する文化施設」「まちの賑わいを生み出す管理運営」というキーワードが掲げられました。

2019年(令和元年)度は期待される将来像に向けてチャレンジし始めた一年でもありました。この小冊子では幕引きであり、リニューアルオープンに向けた幕開けともなる一年間の活動をご紹介します。

再開館に向けてはさらに、文化芸術を通じて心豊かで元気なまちづくり、創造性豊かな子どもたちの育成、市民交流の場づくり、ひいては住み続けたいまちの実現に向けて取り組んでまいります。

今後ともご支援いただきたくよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人多摩市文化振興財団 代表理事 牧田和久



つながる・つなげる / アウトリーチ事業	本物に出会う / 鑑賞事業・文化芸術振興事業
音楽演奏家派遣事業	パルTAMA主催 読響しんゆり名曲コンサート(4月・8月)
読売日本交響楽団のメンバーによる「ふれあいコンサート」～弦楽四重奏の調べ～	ミュージックサロン・シリーズ(vol.39～vol.42)
放課後アウトリーチ	読響メンバーによる室内楽のしらべ(#13～#16)
教育センター演劇ワークショップ	鈴木秀美 KLASSIKの世界 vol.7
出前授業	ぱるてのん おやこ寄席
学芸員派遣事業	パルテノン多摩落語会(ぱるてのん特選会、三つ巴競演会)
この体験が力になる / ワークショップ事業	徳永京子の現代演劇講座
Poco Poco Festa 2020 ～ステージアートのおもちゃ箱～	多摩ニュータウン×演劇プロジェクト 第二弾「まちまち」
市民舞台芸術学校「市民プロデューサー養成講座<入門編>2019」「舞台朗読の基礎」「バックステージツアー」	定期上映
オーケストラで活躍する楽器のおはなし&ミニコンサート Part4	爆音上映 in パルテノン多摩 Vol.4
音楽教養講座「ミュージック・トーク ～コンサートを支える「匠」たち～」	第29回映画祭 TAMA CINEMA FORUM
ブリヂストン美術館美術講座(一般向け2回、子ども向け1回)	2020 EARTH VISION 多摩 映画会
親子で楽しむ 能ワークショップ「お能のキャラクターになりきり体験！」	まちを元気に / 都市活性化事業
一緒に作ろう「ありがとうの花」～手形アートで看板づくり～	パルTAMAフェス 2019 in 多摩センター～音楽と演劇を楽しむ2日間～
キッズファクトリー	パルテノン多摩 こだわりのマルシェVol.2
学びのたのしみ / 郷土文化公開普及事業	パルテノン多摩に光のツリーを灯そう! Vol.4 サトミツ&ザ・トイレットツ クリスマス スペシャルライブ
歴史ミュージアム常設展示	市民の力 / 市民活動支援事業
特別展「刀鍛冶と文明開化～明治期・多摩の乞田鍛冶の渡米に見る海外技術導入～」	Brass Festa 多摩 (2019)
特別展「パルテノン多摩」	第16回 クラリネット アンサンブル コンクール
歴史ミュージアム企画コーナー展示「多摩ニュータウン トイレたんけん隊」	第9回 東日本大震災復興支援 オクサーナ・ステパニユックチャリティーコンサート
歴史ミュージアム企画コーナー展示 みんなで語る「多摩の宝物」～未来へつなげる地域遺産～	多摩ユースオーケストラ 第44回公演「管弦楽入門2019 Vol.22」
廻廊展示「ヨーロッパの街中のみどり～UR都市機構寄贈資料より～」	第46回 多摩市合唱祭
廻廊展示「多摩ニュータウンのめぐるめく公園トイレの世界」	第37回 多摩ニュータウン 野外コンサート
多摩市教育委員会&パルテノン多摩連携展示「古老の描いた多摩の原風景～貝取・落合を中心に～」	第10回 ヤング・クラリネットコンクール
古文書講座(初級・中級)	虹の会・バンビーニ・ファンシーレ 第16回 ダンス発表会
パルテノン多摩記録化プロジェクト	三多摩童謡ファミリーコンサート No.33
民俗学講座	多摩管弦楽団 第48回定期演奏会
植物観察会(みんなの植物観察会、植物観察会ステップアップコース)	第33回 多摩市民「第九」をうたう会
マジックサウンドルーム	第48回 多摩美術家協会展
博物館ボランティア(植物標本整理、古文書解読、多摩くらしの調査団、定点撮影プロジェクト)	第13回 多摩くらしとフェア2019
※主に主催公演を掲載 ※関連企画などは省略	ちゃぶちゃぶ池

1. つながる・つなげる

アウト
リーチ
事業



● 音楽家演奏派遣事業

- 日・場：** 6月30日(日) 愛宕かえで館 / 11月17日(日) ゆう桜ヶ丘
11月23日(土) 乞田・貝取ふれあい館 / 2月23日(日) 貝取こぶし館
- 内容：** クラシックの演奏家が市内コミュニティセンターへ出向くコンサートです。クラシック音楽に親しみ、市民がつながり、交流することをめざして行いました。



● 放課後アウトリーチ

- 日・場：** 12月25日(水) 諏訪南学童クラブ
- 内容：** 学童クラブに通う子どもたちに向けた放課後アウトリーチです。楽器や体を使った参加型の演劇ワークショップのあと、学童クラブ内で照明や音響を入れた本格的な演劇（宮沢賢治をテーマにした作品）を鑑賞しました。



● 教育センター演劇ワークショップ

- 日・場：** 11月～12月(全5回)
- 内容：** 多摩市立教育センター適応教室で行っている演劇ワークショップです。シアター・ゲームや作品づくりを行い、自由な発想でのびのびと取り組むことができました。



● 出前授業

- 日・場：** 4月・5月・6月・9月・10月・11月・12月・2月(全15回)
豊ヶ丘小学校、南鶴牧小学校、多摩第一小学校、連光寺小学校、東寺方小学校、大妻女子大学
- 内容：** 学芸員が博物館から飛び出して市内の学校に行き、学芸員の専門性を活かして地域の解説や観察、学習の指導などをおこないました。今年は、身近な生きもの観察や地域の歴史学習、当館の課題解決に大学生が取り組む課題解決型授業などをおこないました。



● 学芸員派遣事業

- 日・場：** 3月・4月・7月・8月・10月・11月・12月(全9回)
- 内容：** 学芸員を派遣し観察会や講演会などを実施しました。団地での植物観察会や、東京都埋蔵文化財センターの自然観察会、多摩市健康推進課による石仏めぐりウォーキングや歴史民族系の講演などを実施したほか、川崎市市民ミュージアムの文化財レスキューのための学芸員派遣をおこないました。

2. この体験が力になる

ワーク
ショップ
事業



● Poco Poco Festa 2020 ～ステージアートのおもちゃ箱～

日・場：2月9日(日)

パルテノン多摩全館

内容：子どもたちが舞台アートと出会い、自分の好きなことを見つけるきっかけをつくります。様々なプログラムに一生懸命に取り組んでいる子どもたちの表情が印象的でした。



● 市民舞台芸術学校

① 「市民プロデューサー養成講座

<入門編>2019」

日・場：11月30日(土)～1月18日(土)
(全5回) 学習室、第2会議室



② 「舞台朗読の基礎」

日・場：

2月3日(月)～2月24日(月・祝)

全8回×2クラス(午前・夜間クラス)

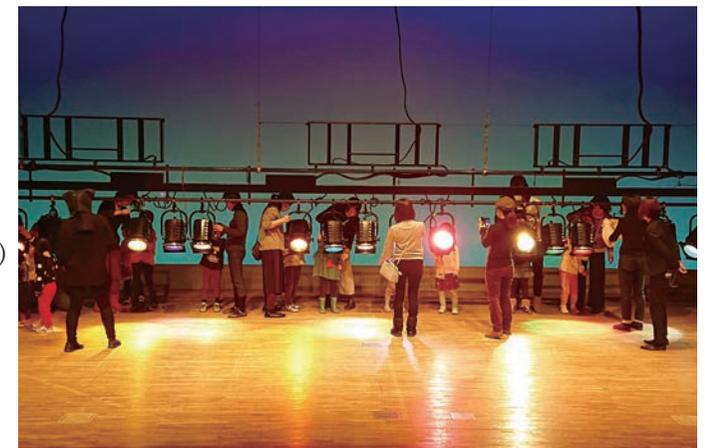
第1・2練習室

③ 「バックステージツアー」

日・場：1月27日(月) ファミリー向け

2月25日(火) 大人向け(18歳以上)

小ホール



内容：舞台芸術について学ぶことのできる「市民舞台芸術学校」シリーズです。朗読の成果発表会を目標とした朗読講座や、事業の企画から運営までを学ぶプロデューサー講座、そして音響や照明の機材を実際に操作することのできる体験型ツアーを行いました。

● オークストラで活躍する楽器のおはなし&ミニコンサート Part4

日・場：8月19日(月)～21日(水)
リハーサル室

内容：若手音楽家が楽しいお話と演奏でオーケストラに登場する楽器の魅力をレクチャーします。間近で演奏を聴きながらの解説で「ますますクラシック音楽に興味を持つことができました」との声をいただきました。



● おはなし美術館 ～こどものための美術講座inパルテノン多摩～

日・場：7月28日(日) 第一会議室

内容：ブリヂストン美術館（現アーティゾン美術館）の学芸員が絵画について新しい視点で解説を行いました。「美術館に行ってみたくなった」などの声がありました。



● 親子で楽しむ能ワークショップ お能のキャラクターになりきり体験！

日・場：8月4日(日) リハーサル室

内容：能に登場する武将や天女になりきり、面をつけたり、能のうごきを体験しました。600年前のミュージカルにみんな興味津々でした。



● 一緒に作ろう「ありがとうの花」～手形アートで看板づくり～



日・場：1月25日(土)「看板作り」 シティーサロン
2月15日(土)「垂れ幕作り」シティーサロン
内容：子どもたちと一緒に色とりどりの手形を押して、パルテノン多摩大階段に飾る看板と垂れ幕を制作しました。家ではなかなかできない体験に、子どもたちの笑顔があふれていました。



● キッズファクトリー

①名人発見！工房

「親子で多摩焼をつくろう！」

日・場：7月21日(日)



②名人発見！工房

「反射材バッヂをつくろう！」

日・場：9月1日(日)



④名人発見！工房

「かんたんなのしい折り紙」

日・場：12月7日(土)



⑤名人発見！工房

「じっけんクラブ 水のかたち・空気のかたち」

日・場：8月25日(日)

③名人発見！工房

「世界のすごろく・
ボードゲーム博物館」

日・場：5月18日(土)



⑥名人発見！工房

「一人で着るゆかたときもの」

日・場：6月9日(日)

3. 学びのためのしみ

● 特別展「刀鍛冶と文明開化 ～明治期・多摩の乞田鍛冶の渡米に見る海外技術導入～」

日・場：4月20日(土)～7月15日(月・祝) 特別展示室

内容：貝取村(多摩市)出身の乞田鍛冶が明治以降に渡米し、自転車や鉄骨建築に関わっていく様子などを紹介しました。期間中は学芸員による展示解説、7本の関連講座・講演会や展示室を舞台にした寸劇ミュージアムシアター公演を実施し、盛況でした。

第二会場では、東京2020オリンピックに関連した「自転車ロードレースと多摩」展を定点撮影プロジェクト協力のもと開催、展示パネルはその後もオリパイベントなどで活躍しています。



● 特別展「パルテノン多摩」



日・場：2月28日(金)～3月16日(月) 特別展示室
(※臨時休館につき、会期は短縮されました。)

内容：1987年に開館したパルテノン多摩は多摩ニュータウン計画上重要な位置づけを持ち、先駆的な複合文化施設としてオープンしました。展示では、オープン前に制作されたキース・ヘリングと子どもたちの絵のほか、当館の歩みを語る資料などを展示しました。WEB公開を試みるなど、会場のみにとどまらない鑑賞方法を試行しました。

● 歴史ミュージアム企画コーナー展示 多摩ニュータウン トイレたんけん隊

日・場：7月19日(金)～11月11日(月)

内容：多摩ニュータウンは高密度に多種多様な公園トイレがあることや、排せつ物が、かつては農業で活用されていたことなどを紹介しました。また、会期中に3回の関連事業を企画しました。



● 歴史ミュージアム企画コーナー展示 みんなで語る「多摩の宝物」～未来へつなげる地域遺産～



日・場：11月14日(木)～3月31日(火)

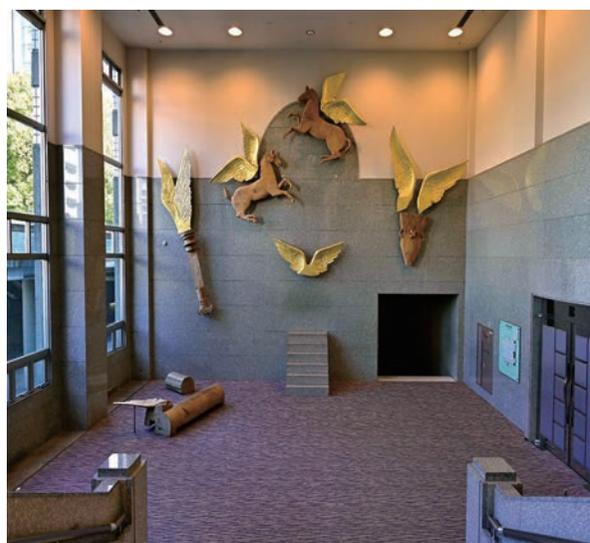
内容：多摩市や多摩ニュータウンで未来に残したい「地域の宝物」を動画とパネルで展示しました。ケヤキについて語った動画は、町内会でも上映されました。街をつくり、街の魅力を発見する視点を持つ人々そのものが宝物であることを再認識できる展示でした。



● 古文書講座

日・場：初級 10月～12月(全6回) 第一会議室
中級 12月～3月(全6回) 第一会議室

内容：いずれも定員を超える大人気の講座です。「はじめての古文書」はくずし字の初歩を学びつつ、広く知られた柳澤吉保の史料を用いながら進め、大変好評でした。中級コースは「安政地震と多摩の人々」をテーマに開催。多くの方にご参加いただき、関心の高さがうかがえました。



● パルテノン多摩記録化プロジェクト 「館内のデザインを探る」 「館内撮影会」

日・場：10月6日(日)・1月19日(日)

パルテノン多摩館内

内容：「館内のデザインを探る」では、パルテノン多摩を設計した曾根幸一先生、きらめきの広場などにも携わった元公団職員の大石武朗先生の案内により、パルテノン多摩館内の芸術作品などを再発見できました。その後、有志を募り館内撮影会を実施、成果の一部は特別展「パルテノン多摩」にて展示をし、今後の記録とすることとしています。



● 植物観察会 (みんなの植物観察会、 植物観察会ステップアップコース)

日・場：各全8回 木曜日

内容：植物観察を通じて地域の自然環境への関心を高め、生物多様性の解明を目指しました。みんなの植物観察会は初心者でも参加しやすい講座で、植物観察会ステップアップコースはより深く学びたい方のための講座です。



● マジックサウンドルーム

内容：100年前の自動演奏楽器の実演を行ったマジックサウンドルームです。オルゴールを使って作曲や発明をする方々、赤ちゃんからピアノと同じ年の方まで。楽器の自動演奏を通して、音楽、技術、歴史を学び、楽しみました。

● 博物館ボランティア

内容：ボランティアで整理した標本は1万点を越え、古文書解読で解読した富沢家日記は30年分以上に及びます。多摩くらしの調査団では東寺方地区で懇談会と現地調査をおこないました。定点撮影プロジェクトでは自転車ロードレースのコース撮影のほか、特別展や企画展用の写真も撮影しました。いずれの活動も、博物館にはなくてはならない存在となっています。



植物標本整理ボランティア



古文書解読ボランティア



多摩くらしの調査団



定点撮影プロジェクト

4. 本物に出会う

鑑賞事業/
文化芸術振興
事業



● パルTAMA主催 読響しんゆり名曲コンサート

日・場：4月7日(日)・8月28日(水) 昭和音楽大学 テアトロ・ジオーロ・ショウワ
内容：20年以上にわたり続けている国内オーケストラのコンサートシリーズです。市民の音楽活動への刺激、育成にもつながっています。



● ミュージックサロン・シリーズ 2019~2020 ~弦楽の響に魅せられて~

日・場：4月25日(木)・7月20日(土)・10月12日(土) (※中止)
2月29日(土) (※中止) 小ホール
内容：実力ある演奏家に焦点を当てた室内楽やソロ・リサイタルのシリーズです。リーズナブルな入場料で上質な演奏に触れる機会として好評をいただいています。



● ぱるてのん おやこ寄席

日・場：7月25日(木) 小ホール
内容：子どもたちが古典芸能に親しむ機会として上演しました。落語を楽しむだけでなく、ロビーで噺家気分になれるブースを展開し、興味をもっていただく仕掛けをつくりました。



● パルテノン多摩落語会

日・場：1月24日(金)・2月24日(月・祝)
小ホール
内容：パルテノン多摩開館以来継続して行われている人気企画です。1月は柳家花緑、古今亭菊之丞、柳亭小痴楽、立川吉笑、2月は柳家喬太郎、桃月庵白酒、三遊亭兼好、上口龍生(和妻)が出演しました。

● 徳永京子の現代演劇講座

日・場：1月18日(土)・1月25日(土)・
2月1日(土) 学習室 他
内容：演劇ジャーナリストの徳永京子氏を講師に迎え、第一線で活躍するゲストとともに演劇に深く切り込む企画です。



● 多摩ニュータウン×演劇プロジェクト 第二弾「まちまち」

日・場：ワークショップ 6月～8月(全15回)
本番 8月11日(日) 小ホール

内容：市民が約40名集まり、まち歩きやグループインタビューを行って多摩ニュータウンのエピソードや課題などを脚本化し、演劇作品を立ち上げました。



● 定期上映

内容：ミニシアター系の作品を中心に上映している定期上映です。水曜の日に開催していることもあり年配のお客様が多く、2019年度は樹木希林さん最後の主演作「あん」が好評でした。



①「輝ける人生」
日・場：5月22日(水)
小ホール



②「あん」
日・場：7月10日(水)
小ホール



③「僕たちは希望という名の列車に乗った」
日・場：10月23日(水)
小ホール

● 爆音上映 in パルテノン多摩 Vol.4 『幻想』&『巨人』～小澤征爾 サイトウ・キネン・オーケストラ～「ストックホルムでワルツを」

日・場：8月2日(金)～8月3日(土) 小ホール
内容：閉館前最後の開催ということで、開館以来長きにわたりパルテノン多摩大ホールに出演した小澤征爾氏の劇場未公開映像などを上映しました。爆音上映を初めて体験した方も多く、その臨場感に驚かれています。



● 第29回映画祭 TAMA CINEMA FORUM

日・場：11月17日(日)～12月1日(日) 小ホール 他
内容：パルテノン多摩大ホールが使用中止のため、中央大学クレセントホールにて開催したTAMA映画賞授賞式です。慣れない会場での開催となりましたが、実行委員会の尽力で多くの映画ファンが集まりました。



● 2020 EARTH VISION 多摩映画会

日・場：2月22日(土) 小ホール
内容：2005年に始まり、今回で16回目を迎える環境映画の上映会です。実行委員会が毎年1回開くこの映画会が、この地域で暮らす方々が環境について考える機会として定着してきています。

5. まちを元気に

都市
活性化
事業

● パルTAMAフェス 2019 in 多摩センター ～音楽と演劇を楽しむ2日間～

日・場：9月14日(土)・15日(日)

パルテノン大通り・大階段下 他

内容：パルテノン多摩を中心とした多摩センター駅周辺を大きな劇場と捉え、音楽、演劇、ダンスなど様々なアート・パフォーマンスが体験できるフェスティバル。2日間で約18,000人にご来場いただきました。



● パルテノン多摩 こだわりのマルシェ Vol.2

日・場：9月14日(土)・15日(日)

パルテノン大通り

内容：多摩市近郊の個人店や手作り作家が集まり、パルTAMAフェスを盛り上げました。地域の人々が魅力あるお店を知るきっかけとなり、出店者同士の新たな出会いも生まれました。無料で参加できる工作ワークショップは、お子様連れのお客様に好評でした。



● パルテノン多摩に光のツリーを灯そう！ Vol.4 サトミツ&ザ・トイレッツ クリスマス スペシャルライブ

日・場：12月21日(土) 特別展示室

内容：出演者に内緒で歌の振り付けを考え、こそ練（こっそり練習会）を2回おこないました。ライブ当日に皆で振り付けを披露したところ、思わぬサプライズに出演者が涙する場面もありました。



6. 市民の力

市民活動
支援事業



Brass Festa 多摩 2019
パルテノンが音楽の玉手箱になる
～東日本大震災復興祈念チャリティーコンサート～
日・場：4月5日(金)～4月7日(日) 小ホール 他



多摩ユースオーケストラ
第44回公演「管弦楽入門2019 Vol.22」
日・場：5月3日(金・祝) 小ホール



第37回 多摩ニュータウン 野外コンサート
日・場：7月27日(土) 鶴牧東公園



三多摩童謡ファミリーコンサート No.33
新しい時代へつなぐ日本の心・ふるさとのうた
～令和に生きる若者たちと奏でる童謡のびびき～
日・場：10月20日(日) 小ホール



第48回 多摩美術家協会展
日・場：9月21日(土)～9月29日(日)
特別展示室



第10回ヤング・クラリネッティスト
コンクール
日・場：8月5日(月)～
8月8日(木) 小ホール



第9回 東日本大震災復興支援
オクサーナ・ステパニユック
チャリティーコンサート
日・場：4月21日(日) 小ホール



第46回 多摩市合唱祭
日・場：7月14日(日) 小ホール



虹の会・バンビーニ・ファンシーレ
第16回ダンス発表会
日・場：10月5日(土) 八王子市南大沢文化会館



多摩管弦楽団 第48回定期演奏会
日・場：10月22日(火・祝)
調布市グリーンホール



第33回 多摩市民「第九」をうたう会
第5回 ミハラシンフォニカ 第九 演奏会
日・場：2月11日(火・祝)
川崎市総合福祉センター エボックなかはら



第13回 多摩くらふとフェア2019
日・場：10月13日(日)～14日(月・祝)
多摩中央公園

パルテノン多摩という「場」

パルテノン多摩は、2020年4月から約2年間休館します。

その間、私たち職員は多摩のまちへ繰り出し、様々なプログラムをまちのいろいろな場で企画し、このまちのなかに、活動の場と仲間を創りながら、再開館のための準備を続けてまいります。

パルテノン多摩が、この「みんなの場」を使って、おもしろい、ためになる、観たくなる、参加したくなることをたくさん創り出すために。

「みんなで創る、みんなが創る、パルテノン多摩！」

職員一同



まち
地域を元気に



公益財団法人多摩市文化振興財団

発行：公益財団法人多摩市文化振興財団

2020年5月11日発行

(5月29日まで) 多摩市落合2-35

(6月1日から) 多摩市鶴牧1-24-1新都市センタービル501号室

Tel 042-375-1414

HP <https://www.parthenon.or.jp/>